

服薬情報提供書 マニュアル

(トレーシングレポート)

保険薬局用

2018.1

総合病院 国保旭中央病院 薬剤局

服薬情報提供書（トレーシングレポート）について

即時性の必要はないものの処方医に情報提供したほうが望ましいと考えられる、保険薬局で得られた患者情報を、「服薬情報提供書（トレーシングレポート）」を用いて、保険薬局から薬剤局を介して処方医に情報を提供し、共有することにより、安全で適切な薬物治療に貢献する。

対応窓口

薬剤局直通

FAX 0479-63-8214

電話 0479-63-8212

FAX 0479-63-8215

電話 0479-63-8213

対応時間

FAX 受付時間

◇**平日の 8：30～17：15（左記時間外は FAX 送信しない）**

※休日、夜間帯の業務が多忙で、救急救命科外来の疑義照会との煩雑さを避けるため。

※17：15以降は、翌日以降の平日に対応する。

服薬情報提供の対応方法

- 1) 保険薬局は、「服薬情報提供書（別紙）」に必要事項を記載し、「処方せん、等」を付けて薬剤局へ FAX 送信する。

<記載方法>

「服薬情報提供書」を医師に確認してもらうため、以下のことに注意して記載する。

- ・医師に報告したい内容を時系列で簡潔にわかりやすく
- ・医師が読みやすい文字で丁寧に（Word で入力が見やすい）

<注意事項> ☆ 医師への報告は、次回診察日になります。

- ・緊急性のあるものは、疑義照会扱いとし、疑義照会票を用いて FAX 送信する。
- ・服薬情報提供書では、『残薬調整』『一包化』の報告はしない。



『残薬調整』『一包化』については疑義照会票を用いて FAX 送信する。

- * a) 急ぐ必要がない場合は、患者さんから診察時に伝えていただくよう説明し、その結果、処方せんに指示がなければ疑義照会を行う。
- * b) 外来服薬支援を行う必要が生じた場合は疑義照会を行う。

《疑義照会対応となる事例》

例) 「一包化の指示がでていた患者様です。患者様のご家族から、用法が多いと服用せずに残ってしまうものが多いので、可能であればセンノシド ねる前→夕食後、ドンペリドン 食前→食後など、まとめていただけないかと要望がありました。次回以降でかまわないので可能であればお願いしますとのことです。」

⇒ * a) に該当。

急ぐ必要がない場合は、次回診察日に患者様から医師に伝えていただくよう説明をお願いします。医師に伝えたが処方せんに指示が出なかった場合は、その旨を記載し、疑義照会をお願いします。

例) 「外来服薬支援のため以下の確認をお願いします。

患者様ご家族が、服薬管理が困難なため一包化を希望されています。

他院のお薬と一緒に一包化させていただきたいので処方医に確認をお願い致します。

処方医：○科 ○○○○医師」

⇒ *b) に該当。

“外来服薬支援について”など、外来服薬支援であることがわかるように記載し、
疑義照会をお願いします。

- 2) 薬剤局は、記載事項を確認し、不明な点があれば保険薬局に電話で問い合わせる。
- 3) 薬剤局は、「服薬情報提供書」の『医師に報告します』の欄に記入し、保険薬局へ FAX で返信する。
- 4) 薬剤局は、次回診察日の前の平日の診療時間内に、処方せんを発行した外来へ確認の依頼書を添付した「服薬情報提供書」のコピーを届ける。
- 5) 回収できた医師の回答内容を薬剤局が「服薬情報提供書」に記載し、保険薬局に電話した後、FAX 送信する。
- 6) 薬剤局は、電子カルテに「服薬情報提供書」-「処方せん、等」をスキャナーで取り込み、保存する。

服薬情報提供マニュアル更新

本マニュアルは、必要時に随時改訂する。

服薬情報提供の流れ

